

神話伝説の山里

たかちほごう

「高千穂郷」通信

236

令和4年9月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



光と音が夏の夜空に広がる

8月10日（水）の「宿の日」、高千穂宿花火実行委員会の主催により、高千穂町総合運動公園で約800発の花火が打ち上げられ、多くの人が歓声を上げました。音に驚いて泣き出す子どもさんを笑顔でなだめる家族連れの姿も見られました。

この花火大会は、旅館やホテルが新型コロナの影響で厳しい経営環境にある中、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部が、公益社団法人日本煙火協会と連携し、全国で展開する「8月10日『宿の日』宿花火プロジェクト」の一環として実施されたものです。

久しぶりに夏の夜空に広がる花火。今年の夏の思い出になった人も多かったことでしょう。



全国和牛能力共進会

わたしが取材しました！

西臼杵支庁農政水産課
山中 浩輔 主任技師

緊急企画

県代表牛決定！ 出品者インタビュー

10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会（全共）の県代表牛決定検査が、8月2日（火）と6日（土）に小林市で行われ、代表牛23頭のうち、なんと9頭も西臼杵から選ばれるという快挙が成し遂げられました。そこで、全共5大会連続の出品となる林秋廣さんと、新設された第7区「脂肪の質評価群」で選ばれ、初出品となる佐藤孝輔さんに話を伺いました。

全共5大会連続出品

はやし あきひろ

林 秋廣 さん

出品区：第3区【若雌の2】

高千穂町河内（69歳）



Q 林さんの出品牛が、第3区（若雌の2）で県代表牛に選ばれました。全共への出品は5大会連続ですね。

前回の全共（宮城大会）で一番悔やまれるのは、鹿児島県に団体賞を奪われたことです。宮崎県とはわずか1点差でした。私の出品牛が6席に終わってしまい、私が少しでも高い点数を取っていれば団体賞を取れたのにと、ずっと責任を感じていました。

出品した若い雌牛は、前に雄牛がいたせいか場内になかなか入ろうとせず、定位置についても地面を嗅いだりと落ち着かない様子でした。牛を仕上げていくにはとてもたくさんの要素があり大変ですが、その失敗から、今回は特に調教に力を入れています。



出品牛 こうみほ

Q 牛の見ただけではなく、牛を思い通りに動かす技術も大事なんですね。

前回の失敗から、牛がどんな位置でも足をピタッと揃えられるように調教しています。全共は格調高い特別な場所です。例えるなら、モデルさんがランウェイを歩くようなものです。そこに立つためには、それなりの訓練と準備をして臨まないと、見に来た人や選ばれなかった人たちに申し訳ない。今回はリベンジ。日本一を決める舞台上、みんなを唸らせたいと思っています。

Q 今回、西臼杵からの出品者には若い人もいて、林さんは頼りにされている存在と聞きましたが。

私が牛飼いを始めた頃は、牛の育て方を教えてくれる人がいなかったもので、自分で本を買って勉強し、そこから少しずつ牛を育てることが面白くなりました。今は、聞きに来た人には技術や知識を惜しみなく教えています。

熱心な人は、うまくいかないと必ず聞いてきますが、今の若い人は、言ったことを吸収するし、自分でも努力します。そういうところは、これまでと大きく違うところだと思います。今回の全共には若い人も出品しますが、大きな舞台に立つ緊張感の中で、たくさんのことを学ぶことになるでしょう。何より牛を見る目が肥えることが、今後大きく役立つと思います。



Q 今回は初めて西臼杵3町すべてから出品牛が選出されました。第4区で日之影町、第6区で五ヶ瀬町の牛が、高千穂町の牛とセットで選ばれており、まさに「チーム西臼杵」と言ってもいい状況だと思いますが。

セットでは連絡を密にする必要があり、それによって区ごとにまとまりはできています。今回は、西臼杵3町から9頭も県代表牛が選ばれたことで、地域全体が沸いている感じがします。

新設された区で全共に初出品

さとう こうすけ
佐藤 孝輔 さん 出品区：第7区【脂肪の質評価群】
高千穂町岩戸（41歳）



Q 第7区（脂肪の質評価群）で県代表牛に選ばれました。お気持ちをお聞かせください。

結果発表では、自分の番号が呼ばれたということがすぐには分かりませんでした。自分が選ばれたのだと分かった瞬間、感極まって涙が出ました。支えていただいた畜産関係の方々や地域の人たちには、感謝の言葉しかありません。

Q 前回（5年前）は、西白杵では選ばれたものの、県代表牛の座を逃し残念でした。

前は悔しい思いをしましたが、すごく勉強にもなりました。牛には自信がありましたが、自分自身の思いが足りませんでした。

最終審査に残る牛たちは、どれも素晴らしい牛ばかりです。その中で勝ち残るには、子牛を生産した農家さんをはじめ、その牛に関わった人たちの思いを、どれだけ自分の思いに乗せられるかにかかっていると学びました。



出品牛 尚栄（なおさかえ）

Q 10月の全共に向けた意気込みを聞かせてください。

全共での結果が今後の「宮崎牛」のブランドに関わると考えると、正直プレッシャーは大きいですが、高千穂では、繁殖農家（※）と肥育農家（※）が、地元で生まれ育てた牛を守るという同じ思いで牛をつくっていると感じます。だから、全共でいい結果を残すことが地域の人たちへの恩返しとなり、高千穂牛を守っていくことにつながると思います。牛も私もリラックスして、いい結果が残せたらいいなと思います。

※ 繁殖農家・・・母牛を飼養し子牛を生産、出荷する農家

※ 肥育農家・・・子牛を購入、肥育し、肉牛として出荷する農家



取材を終えて

全共は、5年に一度、全国の優秀な和牛を一堂に集めて体型や肉質等を競う全国規模の品評会で、「和牛のオリンピック」とも言われています。

中でも、花の区とも呼ばれる第6区（総合評価群）は産地としての評価が問われる区ですが、種牛群の県代表4頭は西白杵から選ばれ、その出品者にも若い担い手がいるなど、西白杵の畜産の新時代の到来を予感させます。

畜産経営は今厳しい状況にあります、全共では西白杵の畜産が明るく輝くような吉報を期待しています！

県代表牛の出品者のみなさん

出品区	町名	出品者
第3区〔若雌の2〕	高千穂	林 秋廣さん
第4区〔繁殖雌牛群〕	高千穂	藤原 和昭さん
	日之影	井植 計二さん
第6区 〔総合評価群・種牛群〕	高千穂	佐藤 悟さん
	五ヶ瀬	興梠 大志さん
	高千穂	馬崎 太志さん
	高千穂	田邊 貴紀さん
高千穂	興梠 友成さん	
第7区〔脂肪の質評価群〕	高千穂	佐藤 孝輔さん

県議会こどもの未来応援対策特別委員会の調査が行われました



8月9日（火）と10日（水）に、県議会こどもの未来応援対策特別委員会（田口 雄二 委員長）が調査のために西臼杵を訪れ、県立五ヶ瀬中等教育学校で、ICTによる教育について説明を受け、夏休み中で帰省している生徒とのオンラインによる意見交換の場ももたれました。

また、高千穂町役場では、西臼杵子ども・障がい者ネットワークセンターの保健師・ソーシャルワーカー・臨床心理士がチームとなった住民への支援について説明を受けました。このほか、高千穂高校のT-LABOを活用し、兵庫県豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組について、オンライン調査が行われました。



西臼杵観光推進連絡協議会公式Instagram

おめでとうございます！

道路功労者表彰



8月24日(水)に河野支庁長と山下土木技術担当次長が高千穂地区農業協同組合本所を訪問し、佐藤 友則 組合長に（公社）日本道路協会からの道路功労者の表彰状を伝達しました。

この表彰は、道路愛護や美化保全等に尽力した全国の個人や団体に対して行われるものです。今回の表彰では、本所職員の皆さんが約50年、毎朝駅通りの清掃を続けていることが評価されました。

佐藤友則組合長は、「清掃は当たり前のこととして行ってきた。地域の方と交流する場にもなっており、爽やかな気持ちで仕事を始めることができる。今後も続けていきたい」と話していました。道路を管理する県としても、大変ありがたく思っています。

優良工事表彰



8月24日（木）に、支庁で令和4年度宮崎県優良工事西臼杵支庁長賞の表彰式を行い、富高工業(株)、高千穂土木(株)、(有)光栄建設、(株)矢野興業の4社に表彰状をお渡ししました。

西臼杵地域は、急峻な地形で難しい条件の現場が多くあります。そのような環境の中で、安全対策の徹底や、住民の皆さんへの丁寧な説明による信頼関係の構築といった、工事成績だけに留まらない模範的な取組が評価され、今回の受賞につながりました。

受賞者の方からは、「今後も地域のために質の高い工事を行っていかうという意欲が湧いた」という言葉をいただきました。



発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

